



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月15日

上場会社名 安川情報システム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2354 URL <http://www.ysknet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清水 喜文  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 原 英明 (TEL)093-622-6111  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月2日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年3月21日～平成23年6月20日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,152	△1.1	△128	—	△83	—	△43	—
23年3月期第1四半期	2,177	△3.8	△346	—	△309	—	△175	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.43	—
23年3月期第1四半期	△9.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	7,285	2,811	38.4	155.45
23年3月期	7,774	2,855	36.5	157.85

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 2,797百万円 23年3月期 2,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年3月21日～平成24年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	△4.2	△30	—	30	—	15	—	0.83
通期	12,000	△0.5	30	—	120	—	65	—	3.61

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	18,000,000株	23年3月期	18,000,000株
24年3月期1Q	304株	23年3月期	254株
24年3月期1Q	17,999,713株	23年3月期1Q	17,999,864株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ① 平成24年3月期 第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産や輸出が減少し、企業収益や設備投資の動向も鈍化する等厳しい状況にあり、景気は総じて弱い動きで推移しております。

当社グループの属する情報サービス業界では、不要不急のIT関連投資に対して企業の慎重な姿勢が続き、IT市場規模の下振れが強まることも懸念され、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、2010年度から2012年度までの中期経営計画「Renovate21(革新21)」の2年目として、営業と技術とが一体となって積極的な提案と受注獲得に努め、顧客価値の創造を図る等、お客様のITパートナーへとなるための取り組みを進めております。また、環境エネルギー等の新規事業分野での当社保有技術の実用化・ビジネス化、当社知識を集約した商品・サービスの開発・販売にも努めております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は21億52百万円(対前年同四半期比1.1%減)、営業損失1億28百万円、経常損失83百万円、四半期純損失43百万円となりました。

なお、わが国の多数の企業が事業年度を4月から3月までと定めているため、システムの導入および検収が顧客の決算期である9月および3月に集中します。このため、当社グループの売上高および利益も第2四半期末および期末に集中する傾向にあり、第1四半期および第3四半期の売上高および利益が他の四半期に比して低い水準となっております。

#### ② 事業別の状況

##### [ビジネス・ソリューション事業]

当事業では、移動体通信事業者向けシステム構築は減少しましたが、製造業向けビジネスソリューションにおいては需要が低調に推移する中で株式会社安川電機のITインフラ整備・更新にかかる継続受注があり、また、非製造業向けビジネスソリューションは堅調に推移しました。その結果、売上高は10億66百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。

##### [組込制御ソリューション事業]

当事業では、医療機器向け組込ソフトは堅調に推移しましたが、震災の影響等もあり設備投資の動向が鈍化し、半導体製造装置等の産業機器向けの制御ソフト、生産ライン管理等のFAシステムは低調に推移しました。その結果、売上高は5億42百万円(同1.0%減)となりました。

##### [医療・公益ソリューション事業]

当事業では、医療機関向けソリューションサービス、自治体向け情報通信基盤構築ともに低調に推移しました。その結果、売上高は1億88百万円(同10.4%減)となりました。

##### [プロダクト事業]

当事業では、情報通信機器分野は需要が堅調に推移しましたが、インターネット・セキュリティ関連製品は低調に推移しました。その結果、売上高は3億55百万円(同2.8%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は46億40百万円(前連結会計年度末比5億16百万円減)となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が13億94百万円減少したこと、現金及び預金が6億26百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は26億44百万円(同27百万円増)となりました。これは、主として前払年金費用の増加等により投資その他の資産が35百万円増加したこと等によるものです。

この結果、資産合計は72億85百万円(同4億89百万円減)となりました。

#### ② 負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は23億51百万円(同4億88百万円減)となりました。これは、主として未払費用が2億78百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が1億68百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は21億22百万円(同42百万円増)となりました。これは、主として退職給付引当金が45百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は44億73百万円(同4億45百万円減)となりました。

## ③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は28億11百万円（同43百万円減）となりました。これは、主として利益剰余金が43百万円減少したこと等によるものです。

## ④ キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より6億26百万円増加し、16億3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加3億27百万円、未払費用の減少2億78百万円があったものの、売上債権の減少13億94百万円があったこと等により、6億44百万円（前年同四半期比37百万円減）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得15百万円等により、△18百万円（同9百万円増）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済0百万円等により、△0百万円（同0百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成23年5月25日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## 簡便な会計処理

## ① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

## ② 繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## ① 会計処理基準に関する事項の変更

## (資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(たな卸資産の評価方法の変更)

連結財務諸表提出会社は、従来、貯蔵品の評価方法については最終仕入原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より移動平均法に変更しております。

この変更は、当該貯蔵品に重要性が増してきたことから、期間損益の適正化を図るために行ったものであります。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年6月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,603,024	976,773
受取手形及び売掛金	1,935,918	3,330,407
商品及び製品	82,419	48,536
仕掛品	727,026	433,560
原材料及び貯蔵品	25,623	25,140
その他	545,254	633,169
貸倒引当金	△279,118	△290,631
流動資産合計	4,640,149	5,156,956
固定資産		
有形固定資産	709,543	702,050
無形固定資産	214,505	230,135
投資その他の資産		
前払年金費用	1,006,622	969,758
その他	714,312	715,995
投資その他の資産合計	1,720,935	1,685,753
固定資産合計	2,644,984	2,617,940
資産合計	7,285,133	7,774,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	316,423	484,542
未払費用	1,185,228	1,463,558
未払法人税等	6,099	32,393
役員賞与引当金	500	—
その他	843,328	859,920
流動負債合計	2,351,579	2,840,415
固定負債		
退職給付引当金	2,013,092	1,967,566
役員退職慰労引当金	57,435	65,679
その他	51,681	46,026
固定負債合計	2,122,208	2,079,271
負債合計	4,473,788	4,919,686
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	664,000	664,000
資本剰余金	318,000	318,000
利益剰余金	1,804,129	1,847,903
自己株式	△99	△88
株主資本合計	2,786,030	2,829,814
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,939	11,467
評価・換算差額等合計	11,939	11,467
少数株主持分	13,374	13,928
純資産合計	2,811,345	2,855,209
負債純資産合計	7,285,133	7,774,896

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)
売上高	2,177,677	2,152,983
売上原価	1,867,821	1,748,623
売上総利益	309,856	404,360
販売費及び一般管理費	656,262	532,919
営業損失(△)	△346,405	△128,558
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	—	1,031
雇用助成金・奨励金	39,079	44,483
その他	29	1,527
営業外収益合計	39,109	47,042
営業外費用		
支払利息	75	125
売上債権売却損	1,617	1,270
為替差損	510	—
その他	36	312
営業外費用合計	2,240	1,708
経常損失(△)	△309,536	△83,224
特別利益		
貸倒引当金戻入額	13,511	11,512
特別利益合計	13,511	11,512
特別損失		
固定資産除却損	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△296,043	△71,712
法人税、住民税及び事業税	231	5,015
法人税等調整額	△119,975	△32,552
法人税等合計	△119,743	△27,536
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△44,175
少数株主損失(△)	△456	△401
四半期純損失(△)	△175,843	△43,773

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△296,043	△71,712
減価償却費	38,593	34,300
のれん償却額	70	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,511	△11,512
前払年金費用の増減額(△は増加)	△46,190	△36,864
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45,488	45,526
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△184	△8,244
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	△5,170	—
受取利息及び受取配当金	△0	△1,031
支払利息	75	125
固定資産除却損	18	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,001,469	1,394,488
たな卸資産の増減額(△は増加)	△235,677	△327,832
仕入債務の増減額(△は減少)	△633,241	△168,119
未払金の増減額(△は減少)	△42,325	△147,090
未払費用の増減額(△は減少)	△235,277	△278,329
その他	117,843	242,830
小計	695,936	667,033
利息及び配当金の受取額	—	1,031
利息の支払額	△75	△125
法人税等の支払額	△13,740	△22,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	682,120	644,992
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△13,601	△15,133
無形固定資産の取得による支出	△14,421	△5,027
投資有価証券の取得による支出	△299	△299
その他	1,083	2,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,238	△18,218
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△238	△357
自己株式の取得による支出	—	△10
配当金の支払額	△99	△5
少数株主への配当金の支払額	△870	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,207	△522
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	653,675	626,250
現金及び現金同等物の期首残高	561,666	976,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,215,341	1,603,024

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。